

x つけくけお k 削除する部分は `delspan` で、追加部分は `addspan` で指定する。数式などのコマンドは $y = ax + b$ のように中括弧でくくる。これは `delspan` も `addspan` も同様。

`delspan` の場合、中括弧を開いた直後で改行するのであれば、コメントマーク % が必要になるっぽい。

ディスプレイスタイルの数式は、`addspan` はできるが `delspan` できない。打消線を入れるには、数式の `&` で区切られた各辺を `strikemath` でくくる。そのままだと、`noproofreadmark` が指定されたときに数式全体が消えてくれないので、全体を改めて `delspanx` (`delspan` ではない) で囲む。
(`noproofreadmark` を使わない場合は必要ない)

$$\dot{x} = ax + bu \tag{1}$$

$$y = cx \tag{2}$$

$$x_{k+1} = ax_k + bu_k \tag{3}$$

$$y_k = cx_k \tag{4}$$